
遊戯王GX ~ 神の悪戯 ~ part2

生ゴミ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GXの神の悪戯 part 2

【Nコード】

N4217BA

【作者名】

生ゴミ

【あらすじ】

中学最後の日、この世界から消えた少年少女の物語

次に目を覚ました場所は遊戯王の世界

取りあえず、学校に行かないといけないという理由でデュエル・アカデミアに行く

そこで出会ったのは……？

この作品は『遊戯王GX』神の悪戯』を書き直した作品です

キャラ紹介（前書き）

初めまして

この作品はあらすじにも書いてある通り、書き直したものです
なので、元々と違うところはありますが、ほぼ一緒です
前回書いたのは、自分が幼すぎたせいで、皆様に迷惑をかけてしま
いました

この場を用いて改めて非礼をお詫び申し上げます。

それでも、見ていただけてくれる方はありがとうございます
では、駄作ですがよろしくお願ひします

キャラ紹介

春日 リツ

身長 155cm 体重 45kg 性別 男(の娘?)

見た目 頭髪は、黒がつかた茶髪、ストレートでちょっと長め。

髪のをくくってポニーテールにしている

顔は童顔

女に間違えられる(男から告白された)

性格 女々しい

シスコンかも?

家族 捨て子故、一緒に捨てられていた薫のみ

近所のおばさんに教えられて遊戯王を始めた

おばさんとデュエルをするにつれてはまっていった

そして、おばさんの力が炸裂して、妹の薫まではまった

後、中学の制服を受け渡しの時、女子用の制服を渡された時は本気で泣きかけていた

デッキは風、水、火、地、光、闇のそれぞれの属性を主に重視したデッキを持っている

他は闇と風の混合デッキなどテーマにあったデッキを使っている

春日 薫

身長 150cm 体重 45kg 性別 女

見た目 髪はリツと同じ色で顔は童顔

髪の長さは首くらいのショートヘア

性格 自由気まま。

ブラコンかも？

リツと違う学校に行っているのだから今別居中
たまにリツの家に遊びに行く

二人とも施設で暮らしてきた

施設で大人になるまでずっと暮らす、又は中学か高校で施設を出る
その2つの道があったが、2人とも中学で施設を出た

キャラ紹介（後書き）

禁止制限リストは最新の物をしようします

リストが変わると、変わった日以降からこの作品内のリストを変えます

オリカは出さないつもりです

・1話(前書き)

G Xとまだ関係がありません
2話後からG Xの話です

- 1話

いつもと同じ毎日

それは、急な事で壊される

それ以外で変わるとすれば、自分の気持ち次第だ

とこの僕、春日^{かすが}リツは思っている

なので今日、いつもと同じというのを変える!!

「デツキOK! IDカードOK! 電卓OK! 髪型OK!

よし! 頑張るぞ!!」

今日初めて僕は遊戯王の大会に出て

いつもの日常を変えてみよう!

いつもは、クラスメイトとデュエルをするくらいだもんね

それ以外では、双子の妹とするくらいだよ……

まあ、妹とは今別居中だから最近はしてないけどね

だから、知らない人としてみたいなあ、と思い、こうなったのだ!

よおし! 優勝頑張るぞ!!

……

……

……

今日、シヨップ大会がやっているカードシヨップまで来たけど……
大会の登録ってどうするの……？

カードが置いてあると思ったら、奥にテーブルがたくさんあって、
みんなデュエルしているよ

……みんな強そうだよ……

例えばあそこにいる人なんか、BFでシンクロモンスターを大量展
開しているし……

あっちの人は、インフェルニティでブリューナクとトリシューラを
出しているし……

おっ！機皇帝デッキを使っている人がいる！！

スキエル、ワイゼル、グランエルがフィールド上で荒ぶっている！！
うわぁ、あのデッキ使ってみたくなぁ

今気づいたら、使っている人、アポリアさんに似ているし……

いやいや、そんな事より、エントリーしないと！！

「君、大会出るつもりかい？」

後ろから誰だろう？

僕に話かけているのだけど……店の人が
そうだ、どうしたらエントリーできるか聞かないと！！

「はい、出たいんですけど、どう出ていいか分からなくて」

「じゃ、ここの紙に名前とIDカードの番号を書いて

はい、これで登録完了

春日リツさんだね、もしかして初めての出場？」

「はい、一度大会に出てみようと思って来ました！

でも、みなさん強そうな人ばかりで……」

「ここに来る人は強い人が多いが、戦ってみたら案外勝てるかもしれないぞ？」

まあ、頑張れ

大会は後10分後に開始するからそれまでにはあのテーブルの近くに来ておいてくれ」

と言って他のエントリーをしたい人を探しに行っちゃった

ほっ、良かった教えてくれて……もし教えてくれなかったら今頃、突っ立っていたままだったよ……

(10分後)

「大会出場者の組み合わせを発表します！」

1 試合目は全8組の組み合わせです

1 組目はヤオスさんVSコジロウさん

2 組目はコケッコッコさんVSタイコウさん

3 組目は関根さんVS春日リツさん

4 組目は………」

……ほとんどの人がニックネーム!?

何!? コケッコッコって!? 鳥なの!?! いや鳥だよね!?

……よし、もう気にしないでおこう

3 組目の僕と関根さん以外は全員ニックネームだった……

これが普通なんだ、そうなんだ

気にしたら負けだ、6組目のハトポツポさんなんて知らない

あっ、みんながテーブルに向かっている

僕も関根さんの向かい側に行かないと!!

「では、デュエルを開始します

制限時間は15分、それ以上になる場合は……………」

長つたらしい説明が終わり、デュエルが開始つと

ジャンケンをして僕が先行となった

……………」

……………」

……………」

大会の結果、関根さんには勝てて

次の対戦相手のムッツリーニさんに負けた……………なんだよ!スキドレ
バルバ次元エアトスって!!

除外されるし、スキドレで効果モンスター使えないし!

やっぱりメタられるとこのデッキはちよつとキツイかな?

まあ、初めての大会で一勝はできたしこんなものかな?

「リツちゃん、こんばんわ」

「はい、こんばんわ」

隣のおばちゃんだ

僕は男なのに『ちゃん』付で呼んでくる珍しい人だ

そういえば、この前女装をさせられたっけ？

この人、僕の事女にでもさせたいのかと時々思うのだよね

でも、優しい人だから結構手伝って貰ったりしてくれている

僕に遊戯王を教えてくれた人でもあったりするよ

たしか、『リツちゃん、遊戯王5D'sって知っている？』から始

まったのだったっけ？

遊星の大ファンでクジャドルを使っているよ

結構強くて、勝てた試がないよ……

「そうそう、最近ね5D'sをDVDで見直しているのだけどねえ
遊星が……」

本当にいい人なのに話が長いのだよね……

遊星の事になるとなおさらだよ

『明日の学校の用意があるので失礼します』って言って、やっと話
が終わったよ

その前にごはんの用意をしないと

1人暮らしは大変だね、3年前から始めたけどまだ慣れないよ

妹の方はしっかりしているかな？

まあ、明日卒業式の後で会うから、聞いてみよう

携帯電話があればすぐに話せるのだけど、生憎もってないからね……

「明日が中学生生活最終日かぁ……」

まだ、実感がわいてこないのだけど、大丈夫かな？

まあ、みんなそんなものかな？

後少して高校生活が始まるのだし！

じゃ、そろそろご飯の用意をしないと！

(明日)

「これにより、卒業式を終了します
一同、礼、退室」

校長先生の話が終わり、これで本当に終わった
この後、みんなで打ち上げがあるけど、妹とあうから僕は行かないよ
その分みんなから写真とか撮られたけど……告白された事は忘れよ
う、男からされたから……

……

……

……

妹との待ち合わせ場所に来た
卒業会場が運がいいのか分からないけど、近くだったから最寄駅で
集合になった

「やつほー！リッう！」

と後ろから抱きつかれた

まあ、いつもの事だから慣れたけど

「薫、いい加減公衆の前でやるのは止めてくれない？」

公開処刑だから……ほら、メガネをかけた人から睨まれたから……」

「いやいや、その公開処刑を喜んでいるのでしょ？」

「勝手にM設定を作らないで!!」

このような兄妹仲がいいよ

妹の名前は薫、双子だよ、2卵生のね（施設の先生がそう言っていた）

兄妹を決めるのは、僕がジャンケンで勝ったから兄になったよ

まあ、容姿はキャラ紹介を見てね！

「まあ、こんな所で立ち話なんかしないでどこか行こうよ」

と言い、頭を撫ぜる

すると気持ちがよさげになる

そんな所は昔から変わらない

「そのカフェにでも行こっ!!」

近くのカフェ、ラヌリースという店に行く

「パフェとかありそうだね」

「リツはいつつもパフェを食べるよね」

「いいじゃん！好きなのだから!!」

とよくあり気な兄妹の会話を楽しみつつ店に近づくと
その途中でよくあるアニメのワンシーンみたいに僕らは光に包まれた
そして、僕らはこの世界から消え、同時にいつもと同じ毎日は壊され
れた

第0話(前書き)

リツはアニメは5D・sからしか知らないのだから初代、GXは知らないです

第0話

気が付くと目の前に神がいた……というようなおとぎ話はなかった
光が包まれる前に僕がいた世界、元の世界とでもいっておこう
そこに住んでいた家の中、詳しく言うとベッドの上
ただ、仰向けに寝転がって天井をぼーっと見つめていた

「夢オチ？」

と一番あり得そうな事を呟いていた
頭がぼーっとしているせいか、なぜか冷静で解析をしていた

「取りあえず、顔を洗おう」

ベッドから起き上がり、洗面台へ向かう

その道へ行く途中にあるテーブルの上にあるものがなければまだ冷静を保てたかも知れない

「デュエル・アカデミアの受験票？」

デュエル・アカデミアとは確か5D・Sであった学校の事だよね？
龍亜と龍可が通っていて、一緒にフラグが回収されなかった子も通っていた学校

でも、それはアニメの話、という事はここはアニメの世界？
いやいや、夢オチじゃない？

取りあえず、受験の日は……後1週間！？

……急すぎるよ、明日から受験勉強か……って何冷静で日程を立てているの！？

取りあえず、顔をたたいても痛いから夢でない事は証明された

この受験票が本物かどうかより、TVや新聞でどうなっているか見ないと!!

「粉碎！玉砕！大喝采！」

……変な人が出ていた
取りあえず続きを見た方がいいかな？

「海馬社長、流石ですね

青眼の白龍を見事に使いこなしたデュエルでしたね」

アナウンサーのような人が海馬社長って言うていたから
この変な人は社長なのだろう

「ふうん、あれほどの相手、俺のブルーアイズの敵ではないわ！」

「流石、海馬コーポレーションの社長ですね

以上、海馬社長のデュエル映像でした！」

……海馬コーポレーションってネオ童実野シティにあるデカイビル
だよな？

じゃ、ここは5D・Sの世界？

まあ、どこでもいいや！

どっちみち遊戯王の世界だからデュエルはできないとダメだし

『おい、デュエルしろよ』と言ってセキュリティに喧嘩売らないと
いけないし

『カードなら拾った（キリッ）』とも言わないと……
やる事が多いよ……

まあ、取りあえずデュエル・アカデミアに行かないとね！
多分高校でしょ？受験票を見る限りそうだと思うけど
そういえば、今の状況を把握しないと
まだ、中学校に行っているのかな？浪人は嫌だよ……
調べておかないと！

……

……

……

取りあえず、今中学3年というのは分かった
元の世界で行っていた学校があつてそこに通っている事になっていた
てか、昔の履歴が全て同じだった
まあ、それはそれで助かるけどね！

デュエル・アカデミアについて調べたけど、デュエルの実技がある
らしい
心理フェイズつてあるのかな？
まあ、いいや！エクストラデッキの調整をして、デッキの調整をす
れば終わりっ！
さつき本棚を探していると入試問題集があつたから見てみたら結構
余裕だったりする

受験についてはもういいとして、残る問題は
薫がどうしているかだね……

高校についても元の世界通りなら、一緒の学校に行く事になったから、こっちもそうなるのかな？
この問題はすぐに解決できないね……
仕方ない、これは後回しにして今は目の前の受験に絞ろう

……
……
……

中学の登校日、普段通りに来てみた
周りがどうなっているかも確かめたかったし

中学に来てみたけど、クラスまで全て一緒だったよ
クラスメイトなんて知っている顔ばかりだったし

「リツ、聞いてくれよ

あのさあ、お袋がさあ、受験落ちると家を追い出すって言うてくるんだよ

リツからもさあ、何か言ってくれね？」

僕の1番の親友、田中が話しかけて来た
シャツを出して、ネクタイを緩め、ブレザーのボタンをしめていれば、そんな事言われないと思うけどなあ、と思ったのは言わないでおこう

髪の毛もワックスをつけてツンツンだし、普通にしていれば本当にそんな事言われないと思うけどね……

「でも、合格をすればいいのでしょ？
落ちなければそんな事がないのだから」

「リツ、俺の学力をなめんなよ！
俺が合格できると思うか！！」

僕の記憶上、田中の学力はいい方だったはずなのだけどなあ……

「でも、まだまだ時間があるでしょ？
勉強すればまだ間に合うよ！！」

「一週間切っているんだぜ！！
余裕ねーよ！！」

「大丈夫、僕が応援するから！いざとなったら僕の家泊まりなよ
！って何赤くなっているの！？」

「いや、別に……（リツがチアの服を着ているのをイメージしてし
まった……）」

なんだかアニメで、女子から告白されたみたいに赤くなっている
現実にそんな事なる人いないから、もしかして熱！？

「た、田中！？熱あるの！？」

「ねえーよ！！近づくな！！（余計赤くなる！！）」

「そこのバカップルは通常運転だね」

下校の時間になったから、いつも通り田中と一緒に帰る

「なあ、リツ

お前本当にアカデミアに行くのか？」

「うん、（どういう経路でなったか分からないけど）受験票があるし（『おい、デュエルしろよ』って言いたいから）デュエルやりたいしまあ、一番はデュエルをやりたいからかな？」

田中とは違う学校になるからちとさびしいけどね」

「……そうか」

田中がそういうい、田中の顔からふと前を向くと

校門付近に変な人達が大量にいた

モヒカンや、スキンヘッドはもちろん、すごい髪型の人的大量にいた取りあえず、うちの学校の制服を着ていたのは分かった

「兄貴、お疲れ様です！」

『お疲れ様です！！』

兄貴って事だから後輩かな？

リーダー的な人の後に他の人が一斉に言うからすごい
周りからの視線が痛い、痛い

「姐さん、お疲れ様です！」

『お疲れさまです！！』

姐さんって僕の事？

僕の周りって何故僕を女として扱うのかな？

結構、悲しいのだけど……

「おい、お前ら周りに迷惑だろうが！！

この前やめろって言ったよな？

忠告を聞けないなら手を出すがとも言ったよな？」

…… なんだかいつもと違って迫力がある

「すみませんでした！」

『すみませんでした！』

すごいなあ、田中が注意するだけで全員が土下座
土下座まで必要？

「行くぞリッ、こいつらは無視しておけ、お前には害だ」

害かどうかは分からないけど、余り関連したくないね……

田中は岡井に電話で『校門にいるバカ共の始末を頼んだ』と連絡し
ているし

それと、気になる事が……

周りの女子が『やっぱり春日×田中よね』や

『いやいや、田中×岡井でしょ』や

『このBL好き女』

『そっちなんか、ベタなラブコメじゃない！！』という言い争いは
気にしないでおこうと

どうでもいいけど、春日×田中ってBLじゃないの？

(BLとラブコメの両方あるって女子が言っていたのは気のせい)

.....

.....

.....

日は過ぎ、筆記試験の受験当日

受験会場で薫を探したけど、見つからなかった

テスト問題はちと難しいのがあるくらいで、基本的にはルールブックに載っている問題だった

そして、残るは実技試験となった

第0話（後書き）

遊戯王の二次創作なのにまだデュエルシーンが出てこない……
まあ、次にだすんですけどね……

ふと、中学のシーンを載せた方がいいかな？と思い載せた結果、長くなりました……

田中と岡井は恐らくもう出てきません

出て来ても後1、2回です

ちなみにリツが通っている中学では腐女子が多いです
でも、リツを男というのを知っている人がBLを見て
知らない人がラブコメを見えています

作っているのはクラブでイラストを主に書いているクラブなのですが、先生や顧問に秘密で薄い本を生徒に売っています

1話(前書き)

やっとGXと絡みます

1話

取りあえず言い訳をさせてください……

電車が止まったのだから仕方ないよ！！僕が悪くないもーんだ！
いいえ、僕が悪いです

家を早く出なくてすみませんでした

という状況から分かる通りに実技の受験会場に行きたいのだけど、
電車が止まり時間のみが経っていく

意外と大きい事故があったらしく結構長く足止めになっちゃってた
りしている

取りあえず遅刻は免れないから理由を考えないと！

こういうのは田中に聞いた方がいいから電話してみようかな？（こ
の世界での僕は携帯電話を持っていた）

田中の受験はおといに終わり、昨日の結果発表でなんと合格！

僕も一緒に見に行ったから2人で大喜び

その後行った某ハンバーガーショップでハイテンションで話してい
たっけ？

今思い浮かべるとよく注意されなかったなあ……あつ、電話がつか
なかったそうだ

『どうしたリツ？

今頃受験会場についている頃だろ？

俺と電話していいの？

緊張して電話かけて来たって事なら受験終わってからブツトばすぞ』

3つの質問と1つの暴力されるかもしてないというのが来た

「それがね、受験会場についてもないし緊張もしてないよ
電車が……………」

取りあえず事情説明する

『はあ、お前ってやっぱり運ねえーな……………』

呆れられた…………『やっぱり』って酷くない!?

『そういう事なら俺に電話するんじゃない、アカデミアに連絡しろ
そして、事情を説明し、遅刻しても試験を受けれるようにしておけ
だが、一応駅員に電車が止まったと証明できるものを貰っておけ
そうすれば試験会場にいる頭の固い先生共も試験を受けさせざる負
えないだろう』

なんせ、上からの圧力と身の潔白を証明できるものがあるからな』

ああ、だから受験会場じゃなく、アカデミアに連絡するんだ

「流石田中!!頼りになるよ!!」

『ほめても何もでねーぞ』

お前と俺は通う高校が別になるんだぞ
俺を頼るなよな』

まだ合格していないから別々になるか分からないのに…………
やっぱり頼らない方が良かったかな?

『まあ、お前はまたこんなミスをするかも知れないからな、別に頼
られてもいいか』

じゃ、切るぞ、アカデミアへの連絡を忘れるなよ』

といい電話を切られた、最後に『頑張れよ』と言つ言葉をつけて
さあて、連絡しないと！

……
……
……

連絡をした結果、遅刻しても受けさせてくれる事となった
駅の人から証明できるものを貰い、今受験会場の受付の前
電話の相手の人がすでに手をまわしてくれていたらしい
名前を言うだけですぐに通してくれた
そして入口に入ると……

「スカイスクレイパーシュート！」

真ん中らへんで偉そうな先生とデュエルをしていた男の子がすごい
E・HEROフレーム・ウィングマンで止めをさしていた
多分あそこでデュエルをするのかな？
取りあえず近づいてみる

「これで試験を終えるノーネ」

試験を終える？

そうになると僕が受けれない？

そうならない！！

「先生！！待つてください！！僕がまだ試験を受けていません！！」

「あなたは何なノーネ？

そのドロップアウトボーイより遅刻してくるなんていい度胸なノーネ」

この人には連絡が届いてなかったのかな？

そのせいか分からないけど、大急ぎで黒いスーツを着た先生が来て、目の前の先生に連絡をしている

「くっ、校長も物好きなノーネ

ドロップアウトガール！！この私がデュエルをしてあげるノーネ！！本気でかかって来るノーネ！！」

連絡は今届いたようだ

それより本気でかかって来いって、あの先生も本気で行くって事！？何？カオスライロ？いやクジャドル？それよりも代償ガジエ？

はあ、勝てるかな？

取りあえず先生がいるところと反対側に行き、先生と向かい合うように立つ

「私はクロノス・デ・メデイチなノーネ

受験番号と名前を教えるなノーネ」

なんだか無理やり『ノーネ』をつけている感が半端ない

「はい、受験番号2番の春日リツです」

「（事件番号2番！？ドロップアウトじゃないノーネ……）」

驚いているけどどうしたのだろう？

遠くの観客席から鳥っばい髪型の男の人と目があつたら目をそらされた

そして人ごみの中にいる誰かと僕を見比べているらしいけど、誰を見ているか分からないや

人ごみじゃなかったら見えたのになあ

「デュエルをするノーネ」

『はい』と言ってデュエルディスクを構える

デュエルディスクは家になかったから急いで買いに行ったのだった？
おかげで財布が薄くなっちゃった……

「デュエル!!」

「え、あつ、デュエル!!」

そういえば、デュエルって宣言しないといけないんだっけ？
今まで全く言わなかったから心の問題が……

そんな事よりもデュエルディスクがランダムに先攻を選ぶ
選ばれたのはクロノス先生の方だ

「先攻はあなたに譲るノーネ」

「じゃ、いただきます

ドロー!!」

この手札は、結構いいや!

「モンスターをセット！
ターンエンド！」

リツ LP 4000
フィールド
モンスター セット 1枚
魔法・罫 無し
手札 5枚

「私のターン！ドローなノーネ！」

やっぱり「ノーネ」って必要なの？

「私はトロイホースを召喚するノーネ！」

トロイホース 4 攻撃力 1600

馬みたいなモンスターが現れたね
攻撃力1600のモンスターか
ちょうどいいくらいのモンスターを召喚してくれたね

「そして私は二重召喚を発動するノーネ！
このターン2回通常召喚を行えるノーネ！」

と言う事はアドバンス召喚かシンクロ召喚、エクシーズ召喚のどれ

かをするのかな
チューナーを出してシンクロが確率的に一番高いかな？

「ト洛伊ホースは地属性モンスターを生贄召喚する時に、2体分の生贄にできるノーネ
ト洛伊ホースを2体分の生け贄にし、古代の機械巨人を召喚するノーネ！」

古代の機械巨人 8 攻撃力 3000

リリース軽減モンスターだったんだ、それをリリースして出たのはちよつとボロいロボだね
攻撃力3000のモンスターかぁ
なんとかなるかな？

「古代の機械巨人で攻撃するノーネ！
アルティメットパワード！」

攻撃されたセットモンスターは魔道雑貨商人
虫がリュックサックを背負っていてなんとなくかわいいモンスターだよ

えっ、ダメージを受けた！？もしかして？

「古代の機械巨人は貫通持ちモンスターなノーネ！！
その虫けらは守備力700！！だから2300のダメージを受けたノーネ」

リツ LP 4000 1700

「でも、魔道雑貨商人のリバーズ効果を発動します！
デッキを上からめくって、一番最初に出た魔法か罠のどっちかを1枚手札に加えます！
それ以外は墓地に送ります！」

魔道雑貨商人は結構お気に入りのカードだったりする
墓地アドと魔法か罠を1枚手札に加えられるという2つのアドを取れるからね

まあ、余り落ちて欲しくないカードも落ちる事もあるけどね……
元の世界でムツツリー二さんとの試合の時に最初に大嵐が出た時もあるから結構運任せなのは仕方ないのだけど……

落ちたカードは9枚、手札に加えたカードは手札抹殺
結構いい感じだね

「私はカードを1枚セットしてターンエンドなノーネ！」

クロノス LP 4000
フィールド
モンスター 古代の機械巨人 (攻撃 3000)
魔法・罠 セット 1枚
手札 2枚

墓地は結構いいけど、さつき加えたカード、手札抹殺じゃなくて大嵐であってほしかったなあ
あのセットカードが怖いんだけど……

結構クロノス先生が『どやあ〜』と思い切りしているから怖いよ!!
周りの人は『あの受験者終わったな』とか『これはクロノスの勝利
が目に見えているな』とか
……絶対勝つてやるからね!!

「ドロー！」

おろかな埋葬を発動！

デッキから魔轟神ソルキウスを墓地に送る！」

これで分かったと思ったけど、僕のデッキは魔轟神デッキ
まあ、普通のじゃないんだけどね！

いや、もしかしたら僕みたくにあるモンスターに特化しているのが
普通かも知れない……

「わざわざ墓地にモンスターを送って何をしたいノーネ」

「見ていればわかりますよ

墓地に存在する魔轟神クシャノの効果を発動！

手札に存在するクシャノ以外の魔轟神を捨てて、このカードを手札
に加えます！

魔轟神クルスを捨てて、手札に加えます！

そして、今捨てた魔轟神クルスの効果を発動します！

このカードは手札から墓地に捨てられた時、墓地から魔轟神と名の
付くモンスター1体を自分のフィールドに特殊召喚します！

僕は魔轟神クルスを特殊召喚します！」

魔轟神クルス 攻撃力 1000

「ですーが、そのモンスターは攻撃力1000のモンスター

私の古代の機械巨人には勝てないノーネ！

（伏せカードはミラーフォースなノーネ

これでもし古代の機械巨人の攻撃力を上回れても破壊できるノーネ

」

「まだまだ続きますよ

手札にいる魔轟神グリムロの効果を発動！

自分フィールド上に魔轟神が存在する時、このカードを墓地に送る事でデッキから魔轟神を手札に加えます
僕はデッキからクルスを手札に加えます」

「またそのモンスターなノーネ」

「手札の魔轟神レイヴンと魔轟神クシャノを墓地に送り、墓地からさつき送ったソルキウスを特殊召喚します

このカードは魔轟神ソルキウス以外のカード2枚を手札から墓地に送ることで墓地から特殊召喚します」

魔轟神ソルキウス 6 攻撃力 2200

「だからさつき墓地に送ったという訳ですーカ」

「はい、そして手札の魔轟神獣チャワの効果が発動します

手札の魔轟神を1体捨てて、手札から特殊召喚します

捨てるモンスターはクルス！

チャワを特殊召喚！」

魔轟神獣チャワ 1 攻撃力 200

「そしてまたクルスの効果が発動する訳なノーネ……頭が痛いノーネ」

「結構頭を使って面白いですよ
クルスの効果で魔轟神クシャノを特殊召喚します!」

魔轟神クシャノ 3 攻撃力 1100

「そこまでやっておきながら古代の機械巨人に勝てるモンスターは
いないノーネ
諦めて無駄なあがきを止めるノーネ」

「いえ、諦めませんよ
とある人がデッキを信じればカード達が答えてくれるって言ってま
したからね
だから僕は諦めませんよ
カードを2枚伏せる」

とある人って言うか……主人公って言うか……

「手札は0枚なノーネ
大口をたたいても所詮その程度なノーネ」

「大丈夫ですよ、勝利への道が見えましたから」

あのカードはソルキウスの特殊召喚に対応していなかったから恐ら
く『奈落の落とし穴』じゃない
多分攻撃反応型のカードか収縮のようなカードなはず

「レベル2のクルスにレベル3のクシャノをチューニング!
シンクロ召喚!合計レベル5!魔轟神レイジオン!」

「シンクロ召喚？何ですーカその召喚は？」

まあ、いいノーネ、古代の機械巨人には及ばないノーネ」

シンクロ召喚を知らない？

それで、教師できるんだ……この学校大丈夫なのかな？

それと、シンクロ召喚のセリフを思い浮かばなかった……

それよりも、レイジオンが一瞬こっちを向いて笑っただけ……

ソリッドビジョンのせい？

「レイジオンの効果を発動！

自分の手札が1枚以下の場合にシンクロ召喚に成功した時、デッキから2枚になるようにドローできる！

今僕の手札は0枚！よって2枚ドロー！」

「ドローモンスターですーカ……厄介なノーネ」

「そして、ソルキウスのレベルを1つ下げ、墓地からレベルステイラーを特殊召喚！」

このカードは自分フィールド上のレベル5以上のモンスターが存在する時、そのモンスターのレベルを1つ下げて、墓地から特殊召喚します

そうそう、このモンスターはアドバンス召喚のためのリリースには使えません」

「また特殊召喚なノーネ

いい加減に飽きたノーネ、さっさとターンをよこすノーネ」

「まあまあ、これがこのデッキの特徴なので我慢してください

レベル1のレベル・ステイラーにレベル1のチャワをチューニング！

シンクロ召喚！合計レベル2！フォーミュラ・シンクロン！」

フォーミュラ・シンクロン 2 攻撃力 200

「またシンクロ召喚ですか」

またドロ効果があったりするのですか？」

「はい、このモンスターがシンクロ召喚に成功した時、1枚ドロできます！」

よって1枚ドロ！」

もう1度ソルキウスのレベルを1つ下げ、レベル・ステイラーを特殊召喚！」

墓地に存在するグローアップ・バルブの効果発動！」

デッキの1番上を墓地に送り墓地から特殊召喚できます、デュエル中に1度だけですけどね

よってデッキの1番上を墓地に送り、墓地から特殊召喚！」

グローアップ・バルブ 1 攻撃 100

「レベル4となったソルキウスにレベル1のグローアップ・バルブをチューニング！」

シンクロ召喚！合計レベル5！TGハイパー・ライブラリアン！」

TGハイパー・ライブラリアン 5 攻撃 2400

「またシンクロ召喚だノーネ」

またドロ効果がありそうだノーネ」

「はい、ありますが今は何もありません
さつき伏せた貪欲な壺を発動！」

墓地に存在する5体のモンスターをデッキに戻し、2枚ドロします！

僕は、クルスが2体、グリム口が1体、チャワが1体、魔轟神獣ケルベラルが1体をデッキに戻し2枚ドロ！」

ケルベラルは魔道雑貨商人の効果で元々いたのだよ

大嵐が欲しいからやったら、ブラック・ホールがきた

今来られてもねえ……

もう1枚はクルスだったよ

「さつき伏せたカードその2！手札抹殺を発動！」

お互い手札全て捨てて、それぞれ捨てた枚数分ドロします！

僕は5枚捨てます！」

「さつき0枚だったのに初期手札の枚数になっているノーネ！？

私は2枚捨て、2枚ドロするノーネ」

くっ、大嵐が来ないでグリム口が3枚とクルスが1枚、ソルキウスが1枚来ちゃったよ

グリム口が3枚同時にドロって初めてな経験なのだけど……

「さつきの手札抹殺の効果で捨てたクルスの効果を発動！」

墓地からクシャノを特殊召喚！

そして、手札の3枚のグリム口を墓地に送り

デッキから……魔轟神獣キャッシー、チャワ、ケルベラルの3体を手札に加える

そして、レベル1のステイラーにレベル3のクシャノをチューニング！

シンクロ召喚！合計レベル4！魔轟神獣ユニコール！！」

魔轟神獣ユニコール 4 攻撃 2300

「またシンクロ召喚なノーネ
ドローモンスターですか？」

「いえいえ、このモンスターにはないですよ
今、ドロー効果が発動するのはTGハイパー・ライブラリアンの方
です

このモンスターがフィールド上に表側表示で存在する時に、自分が
相手がシンクロ召喚に成功すると1枚ドローできます
よって1枚ドロー！」

ドローしたのは……来た！大嵐！！

「大嵐を発動！！言わずと知れたその効果でフィールド上の魔法・
罫を全破壊！！」

「ニヨニヨ！！ミラーフォースが！！」

やっぱりミラフォか

まあ、今から出すモンスターで別に破壊できたけど、学園生活が始
まるから余り情報アドをあげたくないのだね
まあ、遊星が使っていたからみんな知っているかな？
Z・ONEとやった時に使っていたからね……

「レベル5レイギオンとレベル5のライブラリアンにレベル2のフ
ォーミュラをシンクロチューニング！」

宇宙に光り輝く星よ、真の姿となりて僕の下に舞い降りて！

リミットオーバー・アクセルシンクロ！合計レベルMAX！
神秘の龍！！シューティング・クエーサー・ドラゴン！！」

シューティング・クエーサー・ドラゴン 12 攻撃 4000

宙が光輝いたと思ったら、次の瞬間白い龍が僕を守るように現れたソリッド・ビジョンってすごいね、こんな風になるようにするなんて、本当に生きているみたいだよ

そういえば、クエーサーって遊星が頑張って手に入れたカードだったっけ？

世界に1枚だけだから僕が持っていたらダメなのじゃ……まあ、使っちゃったし仕方ないよね！

僕のデッキ、クエーサーを出しやすくしたデッキだししかたないよね！！

だから分からないけど、クエーサーだけ直ぐにセリフを思い浮かんだよ

蟹：じゃなくて遊星が言っていたのどうだったっけ？

それよりもレイジオンとかも考えておかないと！！

「こ、攻撃力4000なノーネ！？

古代の機械巨人の攻撃力を抜いたノーネ！？

それにユニコールが残っているカーラ、残りライフ700しか残らないノーネ！！」

周りも驚いているね

『流石、1ターン長いだけある』とか『1ターン長かったよな』とか『1ターン長い』とか

全部『1ターン長い』っていう言葉が入っている……本当にごめんね、こういうデッキだから……

「大丈夫ですよ、このターンで終わりですから
クエーサーで古代の機械巨人に攻撃！
スターブラスト！！」

クロノス LP 4000 3000

「私の古代の機械巨人がまたボロボロになったノーネ！！」

『また』？前にもボロボロになったのかな？

「クエーサーはチューナー以外に使用したモンスターの数だけ攻撃
できる！

よって2回攻撃できる！再度攻撃！！

ツヴァイズスターブラスト！！」

クロノス LP 3000 0

「ありがとうございました」

「あ、ありがとうなノーネ……」

以上で終了するノーネ……解散だノーネ……」

と言ってクロノス先生はローテンションで戻って行った
取りあえず、クエーサーを使えるか調べてみないと！
取りあえず田中に電話した方がいいかな？

「おーい！そこのお前！！」

明るそうな子が後ろから走ってこっちに向かっていているね……後ろに水色の髪の子がふらふらだよ!?大丈夫なの!?
あつ、大丈夫みたい肩がすごい上下に動いているけど……

「ええつと、僕の事だよな?」

「ああ、お前強いんだな!!
俺とデュエルしようぜ!!」

「強いかどうかは分からないけど、デュエルだったらいいよ」

「じゃ、先攻はどうする?」

「……今からするの!？」

「いやいや、今から電話したりするからまた今度でいい?
ほら、合格すれば学校でできるのだし!」

「今からとは思ってなかったよ……」

「田中に電話しないといけないのに……電車の時の礼と試験を受けれたという事を……」

「ええー!!電話なんて後でいいじゃねえーかよ!!」

「おい、十代」

「きつと彼氏と電話をするんだから邪魔したらいけないぞ
人の恋路を邪魔すると馬に蹴られるぞ」

「と賢そうな子だ明るい子に注意してくれた」

「明るい子は十代と言うのか」

彼氏って言う単語は何かの聞き間違いだ……きっと彼女つと聞こえたんだ、うんそつだ!!

「じゃ、アカデミアに着いたらデュエルしようぜ!!約束だぜ!!」

「うん、2人とも合格したらね」

と言い終わるとみんな違うところに行った

賢そうな子は『おい3番』って言われていたらから3番なのかな?

僕の後ろの3番って事は1番は誰かな?

さて、田中に電話しないと

「ああ、田中?受験できたよ」

『そうか、じゃ、結果はどうだった?』

「僕のターンの2ターン目で勝ったよ

試験用デッキだったかも知れないから対して苦労はしなかったからね」

『ふーん、じゃ合格したんじゃないのか?』

「だったらいけど、合格通知が来るまで分からないからね

まあ、先生に勝てたから合格でいいと思うけど……」

『まあ、合格したら言ってくれ

俺の時みたいにマクナルドに行こうぜ!!

岡井も合格したらしいから2人の合格祝いださ!!』

「気が早いよ……まあ、その時になったら電話するよ、じゃね」

……3番君が戻って来ていたみたいでニヤニヤしてこっち見て来たから早い目に終わらした
何でニヤニヤしているのかな？

「3番君だっけ？何ニヤニヤしているの？」

「いやあ、彼氏と仲がいいと思ってな
気が早いつて何をしたいつて言われたんだ？（ニヤニヤ）」

「取りあえず、彼氏じゃないし……
気が早いのは合格祝いだよ
もう1人も合格したからね」

「そうか……（期待していたのとは違っていたが、俺にもまだチャンスがあるつてことか！！）」

何この人怖い

「じゃ、3番君バイバイ」

取りあえず帰ろう

この人怖いし、でも空気になりそうな気がするんだよね

「おっ、そうだ、自己紹介がまだだったな
俺は2番の三沢だ」

えっ、2番……
一緒に順位なんだ……

「奇遇だね、僕も2番なんだ」

「じゃ、次はアカデミアで会おう」

と言いつて行った

あの人結局何だったのだろうか……まあ、僕も帰ろう

……

……

……

帰って来ると、おばさんに会い、世間話をしていた
そして、世間話から……

「リツちゃんも元の世界に戻りたいわよね」

という言葉が出てから、話が変わった

「元の世界に戻りたいっておばさんですか!？」

「ええ、ここは多分GXの世界よ」

リツちゃんが見た5D・sアニメがあつたでしょ、その前の世界
ってわけよ

シンクロ召喚なんてないし、Dホイールも生み出されていないわ」

ってことは……セキュリティに喧嘩を売れないって事？

くっ、僕の野望の1つがああああああ!!!

ってシンクロ召喚がない時代!?

思いっきりシンクロ召喚しちゃったよ!!みんなの注目のあるところで!!

……だから先生はシンクロ召喚を知らなかったのか……

「それと、使ってはいけないカードがあるから、それを書いた紙を渡すわ

ダンディライオンは結構必要なカードだけど、もう使えないから注意しなさい」

……一番最後に『チューナーとシンクロモンスター全部』って書いてあるよ!?

もう僕だめだ!!

「おばさん、今日デュエル・アカデミアの実技のテストを受けたのだけど……」

魔轟神デッキを使って、クエーサーを使っちゃったのだけど……」

「ああ、そう……じゃ、チューナーとシンクロは使いなさい

あなたはもうシンクロ使いつて見られたから使わないと不自然に感じられるわ」

「えっ、いいの!?!」

「本当は余り使っちゃダメだわ

でもつかちゃったのは仕方ないわ、だからあなたは使いなさい」

「はい、では明日の準備があるので失礼します」

と言って会話を切る

明日は中学に行かないと！

デュエル・アカデミアの受験は周りの学校よりも遅いからね
僕だけ休みつてなっちゃっているのだよね……

まあ、仕方ないか……

1話（後書き）

クロノスの時使った魔轟神デッキはおもに使うデッキです
クロノスとのデュエルしている時に頭があやふやになったので、
一度書いたデュエルシーンを消し、自分の魔轟神デッキを回しながら
書きました

結構手札が揃っていたので、現実で出した事のないクエーサーが出
てしまいました……

本文に書いてある通り、クエーサーを出しやすくさせたつもりなの
ですがねえ……

後、見直したら2ターン目のリツのターン、

通常召喚していないのを気づきました……もうちょい回せたかな？

でも、無意味に回す事になるからやめておこう

多分、おばさんの登場はもうほとんどないと思います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4217ba/>

遊戯王GX～神の悪戯～part2

2012年1月13日01時10分発行